

杉並区立東原中学校 学校図書館だより

# School Library

2020. 9. 18発行



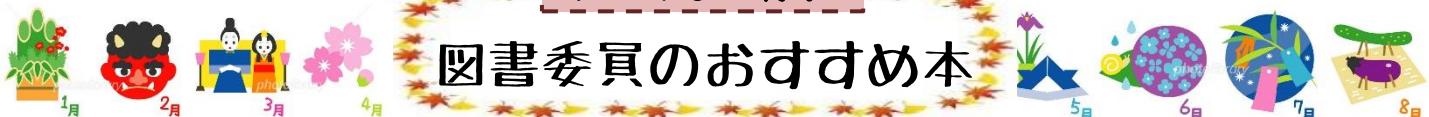
月号

初秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。東京都の新型コロナウィルスの感染状況は今も予断を許さないものとなっていますね。今年の秋は、いつもとはちょっと違う秋ということで、昨年までは「スポーツの秋」だった、という人も今年は『読書の秋』にしてみるのはいかがでしょうか。今までとは一味違った景色が見られるかもしれませんね。もちろん、スポーツ関連の本を読むのもお勧めです。「食欲の秋」「芸術の秋」という人も、是非是非図書館（図書室）に足を運び、お料理や芸術の本を借りてみてください。皆様の来館を、最善を尽くしてお待ちしております。

（担当：2-B 男子）



テーマは 行事



## 『家族で楽しむ 日本の行事としきたり』

石田繁美編 386か

みなさんがあると喜ぶものはなんでしょう？答えは祝日。あって残念だと思う人は中々いないと思います。そのあなたを喜ばせる祝日はなぜあるのでしょうか？知っている人は少ないと思います。この本を読めば、知識がつき祝日がくるたび、ありがたみを持って有意義な祝日を迎えることが出来ます。祝日を有効に使いたい人はぜひ読んでみてください。

（担当：2-A 男子）



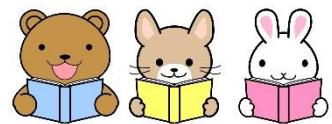
## 『食で知ろう季節の行事』 高橋司 383た

皆さんは行事に合わせた料理と聞いてどんなものを思い浮かべますか？おせち、恵方巻、おはぎ、桜餅や年越しそば。日本では様々な行事とそれにまつわる行事食があります。この本ではそれらを由来とともに紹介しています。可愛らしいイラストもたくさん入っているのでとても読みやすく、食べたいと思えると思います。ぜひ読んでみてください。

（担当：2-A 女子）



# 私と読書 英語科の先生



中学生の時、私はほとんど読書をしませんでした。しかし、そんな私が今、ゆるく本を読んでいます。

小学生の時、週に数回図書館に行くほど本好きでした。シリーズものや探偵ものが好きで、『シャーロックホームズ』『ズッコケ三人組』『こまたさんシリーズ』などを読んでいました。

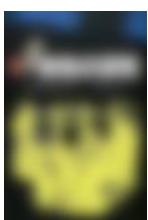
しかし、中学生、高校生の時は、打って変わって、全くと言っていいほど読書をしませんでした。週に7回朝練習ありの部活に一生懸命で、読書の時間が取れなかったのです。中学校、高校の図書館に行ったことは多分ないと思いますし、本屋さんでも文房具を買って終わりでした。

大学生になり、電車の通学時間が長くなり、また本を読む時間が増えました。当時は大学の課題で膨大な量の専門書を読まねばなりませんでした。頭を使って専門書を読んでいると、どうしても息抜きがしたくなります。当時は重松清、有川浩などによく読んでいました。作家・シリーズごとに読もうとするのは小学生の時と変わらなかったです。

教員になり、また忙しくて本に手を伸ばさない…かと思いきや、今は少し違います。生徒に勧められた本を読んだり、図書館で見つけて読んでみたいと思った本を読んだりしています。前任校で「先生、これ読んでください！」と勧められて読んだのが、住野よるの『君の臍臓を食べたい』。「隙間の時間に読んでくださいね」と言われ、クライマックスを山手線で読んでしまい電車の中で大号泣！電車の中で泣いてしまったのは不覚でしたが、心が洗われた、忘れられない体験です。

子どもが生まれてからは、子どもと一緒に地域の図書館、本屋さんに行くようになりました。しかし、色々と忙しくなると、ゆっくり本を読んでいる時間が取れないでの、今は比較的短めの小説、エッセイを読んでいます。あまり時間がかけられないので、本を選ぶのも表紙を見て「面白そう！」と思うものです。昔の言葉でいうと、CDの「ジャケ買い」の感覚に近いですね。最近「ジャケ買い成功」だと思ったのは、山本甲士の『ひかりの魔女』です。主人公は小柄で温厚な一見普通のおばあちゃん。しかし、このおばあちゃんの周りでいろんなことがいい方向に回りだす、というほっこりするお話です。こんなおばあちゃんになりたい、と思う素敵なお本です。

長々と書きましたが、中学生の時に全くといっていいほど読書をしなかった私が、読書について言えることは、「常に読書をしていなかったとしても、何かチャンスがあれば読んでみるのも悪くない」ということです。あまり大きな声では言えませんが、個人的には読書は常にしているわけではないものだと思います。でも、読書のチャンスがあって、すっと心に入ってくる本や、ワクワクする本があるとしたら、それはその時の自分の心に必要な「栄養」なのかもしれないな、と最近思うのです。もちろん、人に勧められた本、表紙借り・表紙買いした本にも、すっと入ってこない本もあります。それでも、ふと気が向いたときに手にした本がとんでもなく自分に「アタリな本」であることもあるから、読書はやめられないなあ、と思う今日この頃です。



(担当：2-B女子)